

1年

先日、音楽コンサートが行われました。講師の板澤先生が大きなエレクトーンを使って、「ディズニーメドレー」や「はいよろこんで」、「かわいいだけじゃダメですか？」など、子供たちにとってなじみのある曲を演奏してくださいました。会場に響く軽快なメロディーに、子供たちは自然と体を揺らし、リズムに合わせて手拍子をしたり踊ったりと、音楽の世界に引き込まれていました。



また、鍵盤ハーモニカや鈴、ト

ライアングルといった身近な楽器に加え、ビブラスラップ等の珍しい楽器も紹介していただき、「こんな音が出るんだ！」「わたしもやってみたい！」という声が聞こえるほど、興味津々の様子でした。

子供たちの目はキラキラと輝き、音楽の楽しさに触れる貴重な時間となりました。この素敵な体験が、今後の音楽科の授業や学校生活に生かされることを願っています。

4年

4年生になり、クラブ活動が始まりました。子供たちは「クラブってどんなことをするのかな？」と期待に胸をふくらませ、わくわくした様子で初回を迎えるました。活動後には、「6年生が『こうすればうまくいくよ』って教えてくれた！次はそれをやってみる！」「5年生のボールは、すごく速かったけれど、とれたよ！」と目を輝かせながら話す子供たちの姿がありました。上級生に学びながら少しづつ自信をつけていく子供たちの姿は、とても頼もしく感じられました。



た。「次はこれをつくるよ！」と、次回の活動を楽しみにしている声が多く、クラブ活動が子供たちにとって楽しく充実した学びの場になっていることが伝わってきます。できなかつたことができるようになる喜びや、仲間と協力して取り組む楽しさを味わいながら、子供たちは生き生きと活動しています。これからも、クラブ活動を通して、自分の得意なことを見付けたり、人との関わりを深めたりしながら、一人一人が大きく成長していく姿を楽しみにしています。

6年

今年度の委員会は、児童会スローガン「藤っ子でつくろう 千色の笑顔」のもと、例年以上に子供たちが主体となって、活動に取り組んでいます。下の写真は委員長12人が集まり、各委員会の活動が重ならないように年間計画を調整したり、藤っ子の笑顔を増やすための活動を提案し合ったりしているところです。以前は、教員が委員会の計画を立てたり、休み時間に集まるように呼びかけたりしていましたが、最近では、活動の見通しをもち、自分たちで学年フロアのホワイトボードに「〇〇の活動をするので集まってください」とお知らせを書く子供や、イベントにたくさん参加してほしいという気持ちから、各教室への事前のお知らせに加えて、当日も放送をしようと積極的に動く子供もいました。

今年度はさらに、委員長たちのアイディアでイベントや委員会の活動に参加した人にアンケートをとり、どれだけ笑顔になれたかを確かめることにしました。ただ、イベントや活動をするのではなく、参加した人たちの声に耳を傾けて、これからの活動に生かしていってほしいと思います。

